

とき 平成二十九年十一月二十三日(木・祝) 九時十分始
ところ 福岡市中央区・大濠公園 能楽堂

観曄會 靖謳會 合同會

主催

福岡観曄會
木月孚行
木月靖謳會
木月晶子

ご挨拶

拝啓 錦秋の候 皆様におかれましては
益々ご健勝の御事とお慶び申し上げます
今年は観曄會・靖謳会と合同で催します
左記の通りお披きを致します

素 謡

道成寺 片岡 恭一郎

本年十二月は初代木月靖芳の五十回忌に
当たります

会員一同一所懸命稽古に励んでおります
ご多用の御事とは存じますが
御同好ご知友お誘い合せ頂きまして
ご来場賜りますようご案内申し上げます

敬具

平成二十九年十一月

木 月 晶 子
木 月 孚 行

番組

連吟

屋島

古藤謙二
花房勝
北原富雄

素謡

吉野天人

岩見元照
田村洋子

清経

高城浩子
石原穰
大庭久男

班女

吉川峯子
水崎みどり
木月晶子

仕舞

田村^{クセ}

緒方こずえ

三輪

新開初美

唐船

田村洋子

車僧

占部敏子

素 謡

(十時半頃)

夕 顔 平石シキエ 松隈昌子

松 風 原田可代子 木原友美江

弱法師 平田典子 河井貞子

仕 舞

花 月キリ 檀原立成

芭 蕉キリ 片岡恭一郎

班 女クセ 今村義孝

素 謡

(十二時半頃)

遊 行 柳 山寄幸子 神代知榮子

山 姥 宮本清住 今村義孝

仕
舞

松 風 平田典子

東 北^{キリ} 吉川峯子

阿 漕 松隈昌子

素 謡

(一時半過頃)

定 家 梅田稲子 柴原純一郎

藤 戸 坂口哲史 田中重康
木月晶子

道 成 寺 片岡恭一郎 赤司憲一
今村嘉太郎

仕
舞

花 月 柴原純一郎

山 姥^{キリ} 松原章隆

素 謡

(三時半過頃)

杜 若 熊谷 七口子 長谷川 維子

阿 漕 小林 保男 川 俣 亮二

鞍馬 天狗 清角 紋子 中村 高明 中村 惠美子

番外仕舞

通 盛 木月 晶子

善 知 鳥 木月 孚行

附 祝 言

(終了予定 五時過頃)

◎ 素謡左記省略させて頂きます。

吉野天人

清経

ワキへ急ぎ候程にヨリ始 地上歌へこの程は クセ

班女

次第ヨリ始 道行 上歌へ心だに クリ サシ クセ略ワカへ

夕顔

サシ 道行 クリ サシ略クセ上ゲへ

松風

ワキ名宜アトシテの出へ シテサシへ心づくしヨリ略 シテサシへ面白やへ
シテクドキへこの上ハヨリ略 シテへかくて三年へ
地上歌へ恋草の クセ

弱法師

サシ 下歌 クリ サシ クセ

遊行柳

道行 上歌へげにさぞな 地へ衆生稱念 シテへ釋迦既に滅し

山姥

ワキへ御急ぎ候程にヨリ始め クリ サシ クセ

定家

道行ヨリ略 ✓あらず止やへ 上歌へ今降るも クリ サシ クセ
へ故事も

藤戸

道行 上歌へ住み果てぬ クセ

道成寺

杜若

シテ一セイヨリ略 シテへ花前に蝶舞ふへ

阿漕

ワキへ急ぎ候程にヨリ始 クセ

鞍馬天狗

地上歌へ松嵐花の 下歌へさてもこの程

福岡観眸會

木月孚行

(東京) 新宿区下宮比町二一八一一〇一

電話 〇三(三二三五) 六四二四

(福岡) 福岡市中央区渡辺通り二一三一二七

電話 〇九二(七一四) 二八〇〇

木月靖謳會

木月晶子

(自宅) 飯塚市宮町二一八三

電話 〇九四八(二二) 二四二一

(福岡) 福岡市中央区渡辺通り二一三一二七

電話 〇九二(七一四) 二八〇〇

(行橋) 行橋市大橋一丁目九一二六

中央公民館

電話 〇七〇・五二七六・七五三四